

第11回中国制振構造学術会議で招待講演を行いました (2019/10/21-22)

テーマ：耐震工学，制振構造
場所：湖南省湘潭市

2019年10月21日～22日，湖南省湘潭市において，湖南科技大学の主催により第11回中国制振構造学術会議が開催されました。当研究所からは，五十子幸樹 教授（災害リスク研究部門 最適減災技術研究分野）と，李大偉 研究員（JSPS 外国人特別研究員）が参加しました。会議の冒頭，委員長の周福霖 教授（広州大学）から，これまでの40年に及び制振研究の総括と今後の方向性についての示唆があり，加えて中国国内で精力的に勤められている世界最大級の構造実験設備についての紹介がありました。五十子 教授は招待講演において，長周期地震動が長大構造物にもたらす過大变位と，分岐型座屈に伴って生じる高層建部下層部の変形集中や振れ倒壊現象，更にはそれら課題に対する理論的・実践的解決方策について紹介しました。李 研究員は，渦電流ダンパーとダイナミック・マス(inerter)を組み合わせた新しい制振装置の減衰性能評価について最新の研究成果を発表しました。



開会式



周福霖 委員長の開会挨拶



五十子教授の招待講演



五十子教授への招待講演証書授与の様子

文責：五十子 幸樹（災害リスク研究部門）